

第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

B.情報・交通

【HP 掲載No. B02】

発表No.	B02
タイトル	都市におけるモビリティの乗り継ぎ実態に関する一考察
所属・名前	<p>大日本ダイヤコンサルタント株式会社 益子 慎太郎</p> <p>国土交通省 国土技術政策総合研究所 新階 寛恭</p> <p>国土交通省 国土技術政策総合研究所 小笠原 裕光</p> <p>公益社団法人日本交通計画協会 三浦 清洋</p> <p>公益社団法人日本交通計画協会 村上 僚祐</p> <p>八千代エンジニアリング株式会社 藤田 光宏</p> <p>八千代エンジニアリング株式会社 高橋 健二</p> <p>八千代エンジニアリング株式会社 乙黒 大地</p>
キーワード	① モビリティの乗り継ぎ ② モビリティハブ ③ シェアサイクル
<p>人々の生活様式の多様化や超高齢化等に対応して、都市内の多様な移動・活動を支える移動サービスやシステムが求められている。一方、既存の公共交通は運転手不足や収支悪化等による事業縮小・撤退等の危機に面している。</p> <p>そのような中、モビリティに関する技術は進展し、多様な移動の可能性が広がっており、これらの組み合わせが移動性向上の要衝となると仮定される。</p> <p>本研究では、バスー自転車等のモビリティ間の乗り継ぎ実態を把握し、モビリティハブが有効な場面を考察することを目的として、三鷹市天文台下を選定し、目視・ビデオ・聴取の3つの手法による現地観測調査を実施した。具体的には、地形状況、周辺土地利用、交通サービス等との関係から地域の移動性向上への寄与を検証した。利用者の発着エリア等も可視化しながら分析・考察した結果、各モビリティ特性を活かした多様な乗り継ぎの連携やこれに伴う公共交通勢圏拡大等を確認した。</p>	